

2015年8月20日(木)

**協和エクシオ、山梨県内で4カ所目となる
メガソーラー発電事業を展開
～出力約 1,180 キロワットの太陽光発電施設の建設に着手～**

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、環境事業の一環として、太陽光発電システムの設計から施工、運用システムの構築に至るまでの設備設置工事、さらには再生可能エネルギーの固定価格買取制度による売電を実施する発電事業を展開しておりますが、このたび、山梨県内で4カ所目となる出力約 1,180kW のメガソーラー発電事業を展開することとなり、8月20日、当社関係者ならびに地元の関係者の出席のもと、現地で工事安全祈願祭が執り行われました。

なお、稼働開始は2016年2月を予定しています。

今回展開するメガソーラー発電事業は、当社が山梨県韮崎市内の用地約1万4,000平方メートルを賃借し、太陽光発電設備の設置および完成後の運営を実施するもので、敷地内に約4,400枚の太陽電池モジュールを設置し、完成後は出力約1,180kW、年間発電量で一般家庭の約350世帯に相当するメガソーラーによる発電事業を実施します。また、幹線道路の近くに位置するため、パネルの反射によりドライバーの運転の妨げとならないよう、通常よりも平面に近い角度でパネルを設置します。

当社は環境事業の一環として、メガソーラーをはじめとする太陽光発電設備の設計・施工を手掛けるとともに、発電事業にも注力しています。発電事業に関しては、2012年11月の当社「府中総合技術センター」（東京都府中市）での稼働開始を皮切りに、現在はメガソーラー発電施設5カ所（山梨県3カ所、千葉県1カ所、茨城県1カ所）を含む全国9カ所で稼働しています。また山梨県では、韮崎市内のメガソーラー発電施設「新府ソーラー発電所」を含む県内3カ所で稼働しており、今回の工事が完成すると山梨県内で4カ所目、韮崎市内では2カ所目のメガソーラー発電施設となります。

今回の工事概要は以下の通りです。

工 事 名：エクシオ祖母石ソーラー発電所建設工事
工 事 場 所：山梨県韮崎市下祖母石 2258-1
工 事 期 間：自 平成 27 年 8 月 20 日 ～ 至 平成 28 年 2 月 28 日
発電事業者：株式会社協和エクシオ
設計・施工：株式会社サンクレックス
 エクシオインフラ株式会社
施 設 規 模：・設置用地面積 14,356 m²
 ・太陽光発電設備
 太陽光パネル出力 約 1,176.6 kW
 太陽光パネル枚数 4,440 枚
 年間発電量（見込み） 約 1,200,000 kWh/年
投 資 金 額：約 3 億円

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-29-20 総務部 CSR・広報室

電話：03-5778-1075（直） FAX：03-5778-1228

担当：高柳 圭伸